

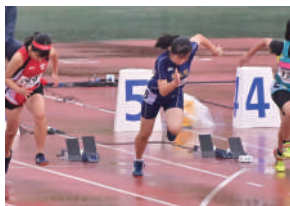
| 寄宿舎

自宅から学校までが遠距離で通学困難だったり、社会自立をめざす子どもたちが、皆で生活しています。年間を通して、自治会「すずらん会」の活動も行っています。



| 部活動

陸上競技部、卓球部、文化・軽スポーツ部があり、熱心に活動しています。県の高校総体や聾学校の関東・全国大会での活躍を目指して頑張っています。



| 学校の沿革

- ・大正 11 年 私立高崎聾学校在現高崎市立北小学校敷地内に開校される。
- ・昭和 2 年 群馬県立盲聾学校（盲部、聾部を設置）として開校される。
- ・昭和 23 年 群馬県立聾学校（校舎は盲学校と同居）として分離独立する。

| 在籍数・学級数・通学状況

		幼稚部	小学部	中学部	高等部	総数
在籍数	男	9	15	6	10	40
	女	5	17	7	11	40
	計	14	32	13	21	80
学級数		5	9	4	7	25
寄宿舎生		0	4	7	15	26
通学生		14	28	6	6	54

| 主な進路先（近年10カ年の進路状況）

■ 就職

(株)SUBARU、(株)ナカヨ、日野自動車(株)、コーセイインダストリーズ(株)、キヤノン電子(株)、日本精工(株)、明星電気(株)、吾孺ゴム工業(株)、(株)アークミール・ステーキのどん、スターバックスコーヒージャパン(株)、日立Astemo(株)、田島縫製(株)、(株)アダストリア・ゼネラルサポート、(株)セントラルリリーフ

■ 進学

筑波技術大学、和光大学、群馬医療福祉大学、日本社会事業大学、東洋大学、城西大学、立正大学、育英短期大学、桐生大学短期大学部、筑波大学附属聴覚特別支援学校専攻科、大宮ろう学園専攻科、前橋医療福祉専門学校、埼玉ベルエポック製菓調理専門学校、アートグルーミングスクール(トリマー)、東京障害者職業能力開発校、群馬自動車大学校

■ 福祉

菜の花、エール、あいばーと あすなろ、カラフル、のぞみの園、だるま自立支援ラボ、エイド、アリス高崎、よろず屋寒春、とも、ONEFRAME

体を育てます
言葉を育てます
そして心を育てます



群馬県立聾学校
GUNMA PREFECTURAL SCHOOL FOR THE DEAF

学校案内

2025

交通案内 ACCESS

JR 両毛線 前橋駅より徒歩 20 分

群馬県立聾学校

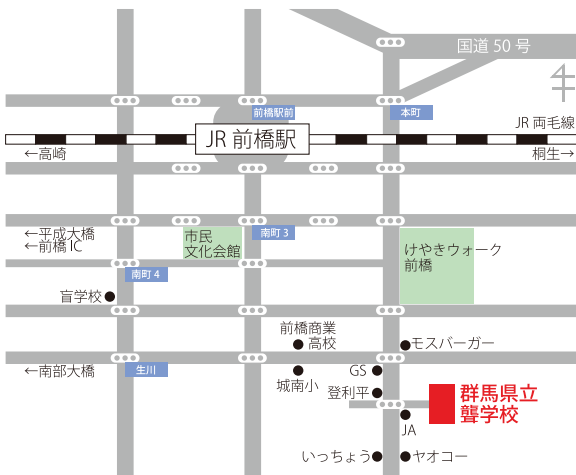
〒371-0803 群馬県前橋市天川原町一丁目 4 番地

学校 TEL 027-223-3233 FAX 027-243-6255

寄宿舎 TEL 027-243-2413 FAX 027-243-2413

Mail rou-snes@edu-g.gsn.ed.jp

URL https://rogakko-ses.gsn.ed.jp



教育目標

- 健康な体と思いやりのある豊かな心を育てます。
- 自ら考えて行動するたくましく生きる力を育てます。
- 言語力・基礎学力の向上を目指し、自ら学ぶとする態度や習慣を育てます。
- 進んで集団や社会に参加する力を育てます。

教育方針

聴覚に障害を有する幼児・児童・生徒一人一人の実態や発達段階に応じた指導を行います。言葉を身に付けながら、日本語を読んで理解し、書いて伝える力を高めます。そして、どの学部も、基本的には通常の幼稚園から高等学校までの教育内容に準じた内容を学びながら、学力の向上を図り、社会参加する力を養うことを目指します。

学ぶためのコミュニケーション手段としては、聴覚活用、発音・発語、手話、指文字、文字、絵等の様々な方法を適切に活用して指導を行います。

聴覚障害支援センター

きこえやことばに関することで心配のあるお子さんやその御家族等に対して相談支援を行っています。

■ 通級指導教室を行っています。

聾学校での指導だけではなく、各地域の巡回場所での指導も行っています。

■ 教育相談を行っています。

小中学校に通う児童生徒、特別支援学級や特別支援学校、地域の通級指導教室、高等学校等に通っている児童生徒も対象になります。

■ 保育園、幼稚園、こども園、小学校、中学校、高等学校等への支援を行っています。

学習や生活上の配慮事項の相談、補聴器や人工内耳、補聴援助システムの相談、職員研修への協力、難聴理解授業などを行っています。

乳幼児教育相談（0歳～5歳）

お子さんと保護者の方を対象に、週1～2回の相談を行っています。グループ活動、個別相談、保護者の方の勉強会を通して、お子さんとの心の通わせ方、音の聞かせ方、言葉の育て方など、育児全般にわたって具体的な助言等を行っています。



幼稚部

幼稚部では、実際の生活体験を通して、人とのかかわり合い、伝え合うための意欲や態度を育てます。確かに伝え合う体験を重ねながら、ことばの素地を培います。

活動内容 ～円満な発達を目指して～

幼児期は、「心」「からだ」「言葉」を育てるうえで、とても大切な時期です。幼稚部では、遊び、製作やリズム運動などの活動や四季折々の行事を通して、お子さんがすこやかに成長するように教育しています。そのほかに、聾学校の専門性を生かし、「話し合い活動」「発音指導」「絵日記指導」などを行い、進んで見る、聞く、話す、考える子を育てています。

また、ろくくひよこプリスクール及び六供保育園との交流活動を実施しています。



話し合い活動

幼稚部では、話し合い活動を行っています。子どもたちが自分の思いを、自由に先生やお友達と伝え合う楽しい時間です。



～ ビンゴゲームを するよ ～
T:「きょうは ビンゴゲームを するよ」
C:「わからないから まけちゃう」
T:「だいじょうぶ まえに やったよね」
C:「あー わかった」
T:「そろったら びんどっていってね」

小学部

小学部からは教科学習がスタートします。文字を身に付け、読むことや書くことを大切にしながら学習に取り組みます。友だちとなかよく協力し合う態度を培います。

小学部の方針

児童が自分から学ぼうとする力を育て、＜学ぶ楽しさ＞を身に付けられるよう、各教科や総合的な学習に取り組んでいます。

教科学習では、ICT の活用等、教材を工夫して基礎学力を培います。また、学校生活全般を通じて一人一人のニーズに合ったきめ細かい指導を行っています。児童の生活に密着した題材を取り上げた言語指導や話し合い活動を通して豊かなコミュニケーションの力を育てます。



交流学習

マラソン大会や互いの学校訪問等を通して、近隣の小学校との交流を行っています。また、児童の居住地の学校と一緒に学習する交流学習も行っています。他県の聾学校とのオンラインによる交流も行っています。

交流学習は、児童が自分の聞こえについて伝える大切さを学んだり、自分の学校以外の友だちと関わる楽しさを知ったりする貴重な機会となっています。



中学部

中学部では、教科学習を通して考える力や伝え合う力を身に付けます。また、生徒会活動や部活動を通して友達と協力しながら目標を達成する経験も積んでいきます。

中学部の方針

生徒が自ら考えて判断し、行動する力を培います。授業ではもちろん、生徒会活動や部活動など全ての場面で一人ひとりの能力や個性を大切にした指導を行っています。また、ICTも活用してお互いの考えを共有しています。



交流学習

市内の中学校や県外のろう学校と交流を行っています。また、生徒の居住地の中学校と一緒に学習する居住地校交流も行っています。部活動の大会にも参加して、日頃の練習の成果を発揮するとともに、他校の生徒達とも交流をしています。



生徒会活動

オリエンテーション、球技大会、予餞会などの生徒会行事や日頃の委員会活動など、生徒が主体的に企画・運営しています。みんなで力を合わせて、よりよい活動ができるように取り組んでいます。また、学校全体の行事では、高等部の生徒会とも力を合わせて活動しています。



高等部

普通科・情報デザイン科の二学科が設置されており、生徒たちは一人一人の個性を輝かせながら、自立や社会参加に向け、さまざまな学習活動に力いっぱい取り組んでいます。

普通科（普通コース）

進学希望者はもちろん、基礎学力や豊かな教養を身につけたいと考える生徒のための学科です。英検、漢検等の検定試験にも取り組んでいます。



普通科（生活コース）

生活コースでは、基礎的・基本的な学習や、作業学習を多く取り入れています。体験的な活動をとおして、働く力や生活を自己管理する力を身に付けます。



情報デザイン科

パソコンなどの情報機器に習熟し、いろいろな造形活動を通して豊かな人間性を培うことを目指した学科です。各種ポスターデザインコンテストに応募したり、ビジネス文書実務検定等の検定試験にも取り組んだりしています。



就業体験

自分の将来を見据え、地域の職場で実際に働く体験をします。自己の進路実現に向けて自分の個性や適性を把握したり、働くことの意義を学びます。

